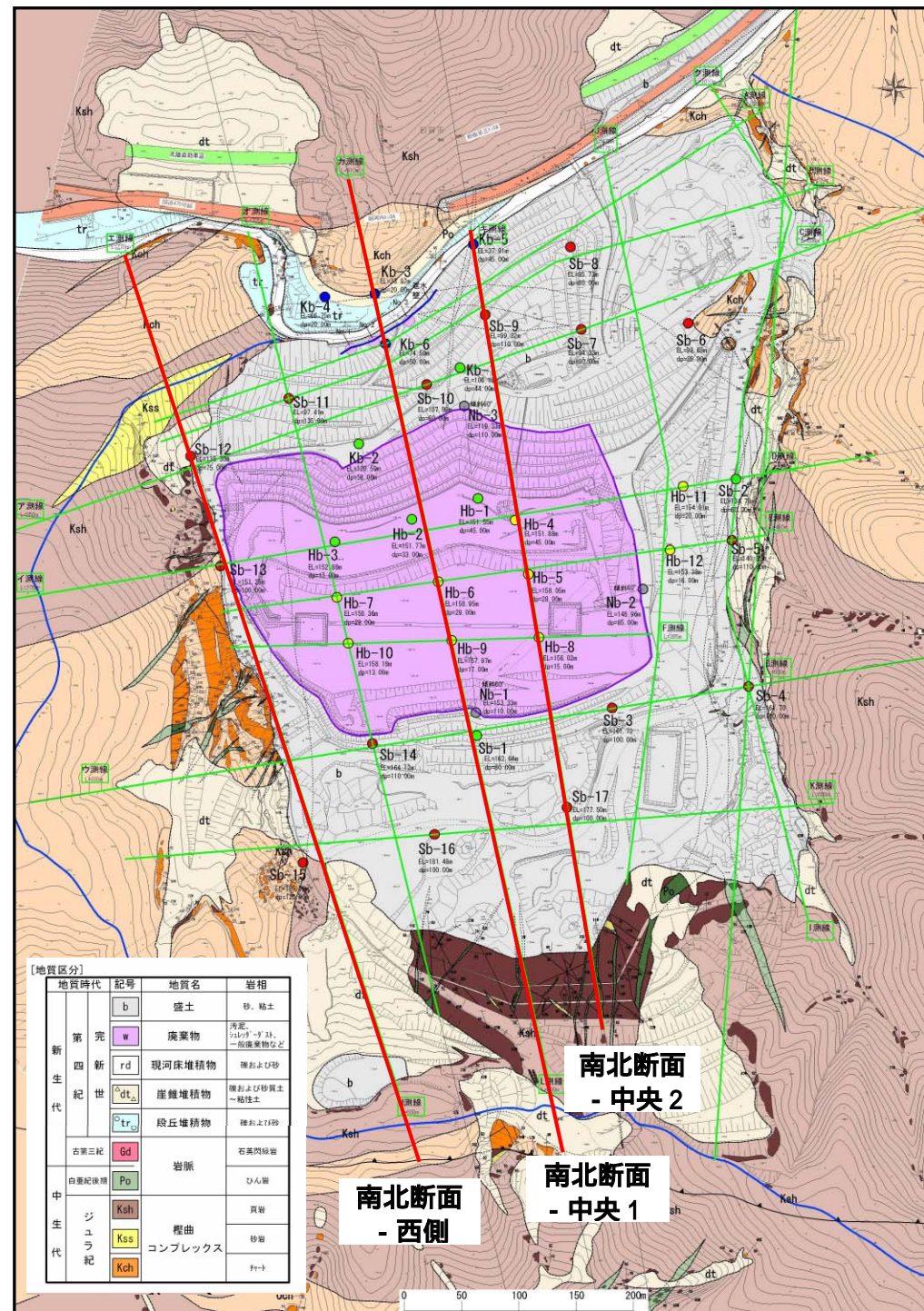
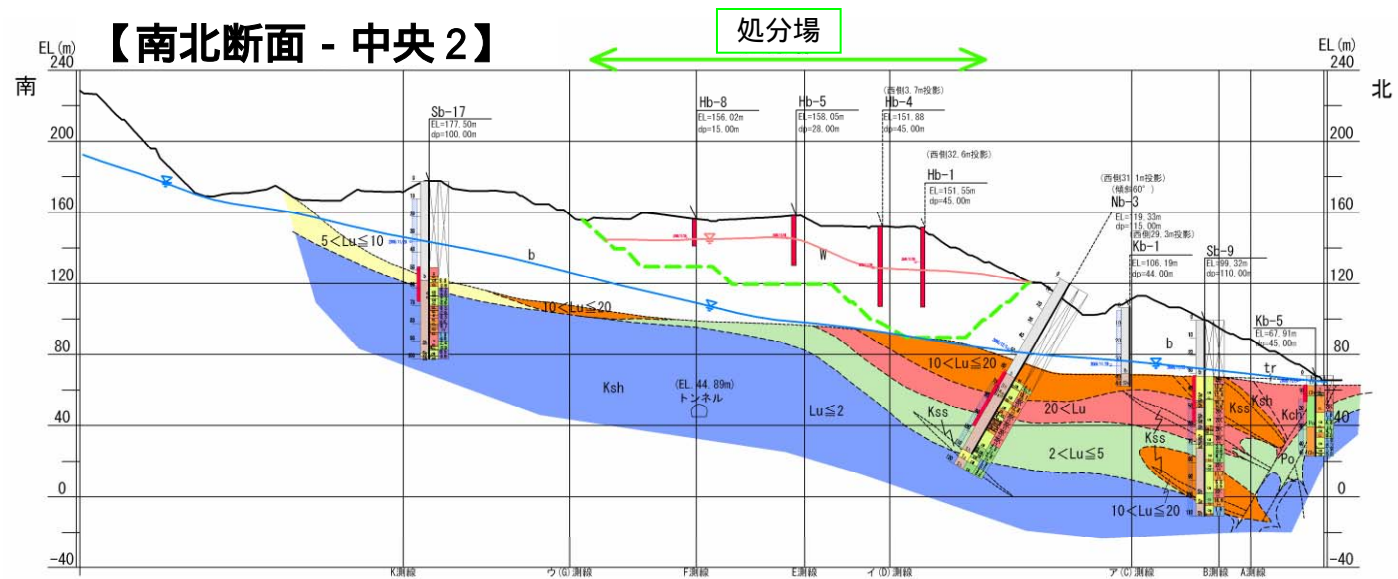
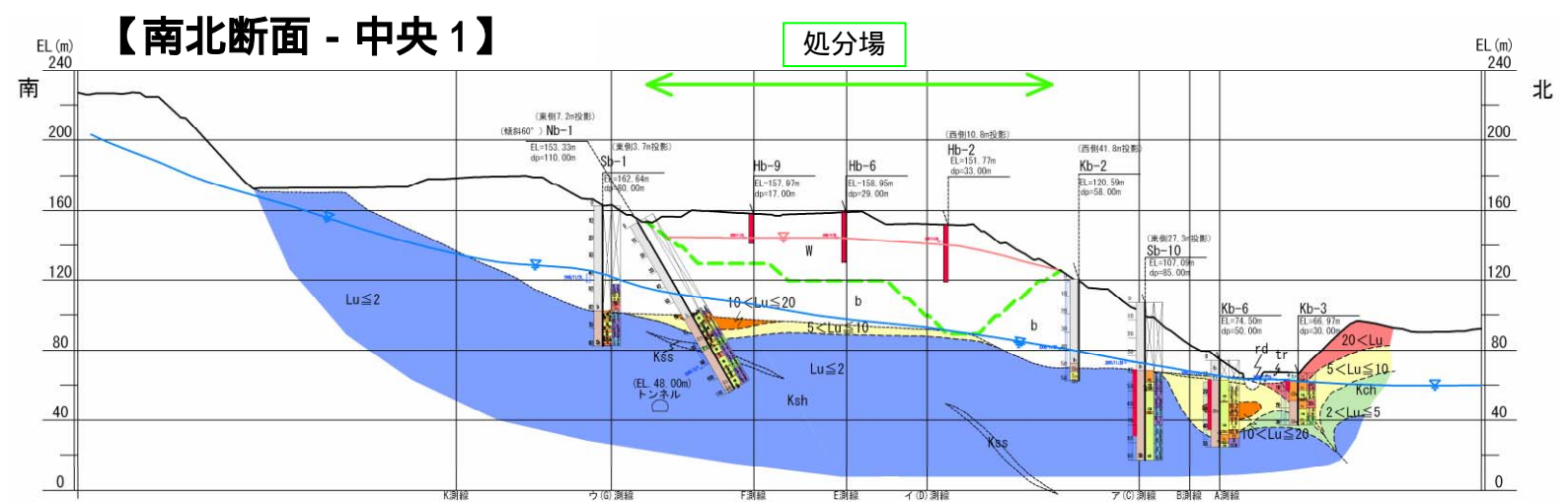
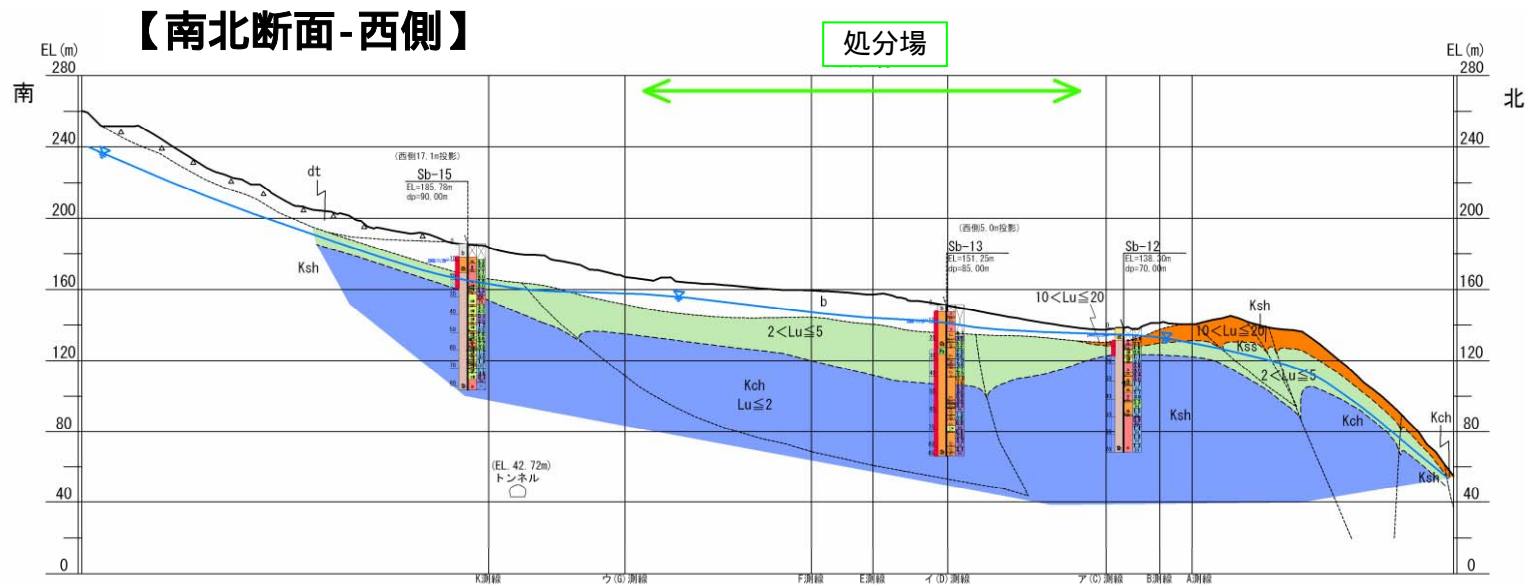


2. 調査・解析結果		
検討項目	要 点	備 考
2.5 処分場付近の岩盤の透水性	<p>本年度調査では、ボーリング調査 A (処分場周辺), C (木ノ芽川沿い), D (処分場下) の掘削に並行し、基盤岩の透水性状を把握するために現場透水試験 (ルジオンテスト) を実施した (22 孔 : 計 249 回)。これらの試験結果と既往調査結果 (2 孔 : 計 18 回) とを合わせ、処分場基礎岩盤の透水性状を以下のように整理した。</p> <p><b>2.5.1 処分場およびその付近の岩盤の透水性</b></p> <p>図-2.5.1 ~ 2.5.3 に、処分場付近の基盤部の透水性区分図 (ルジオンマップ) を示す。処分場の下およびその付近の岩盤の透水性状は、以下のように整理される。</p> <p><b>【南北断面】</b></p> <p>処分場の西側断面では、全体に透水性が低く岩盤上面付近から 2 ~ 5Lu の値を示し、その下では 2Lu 以下の難透水性岩盤が主体となる。</p> <p>処分場中央 1, 2 断面では、処分場の背面 (南側) で全体に透水性が低く、岩盤の上面付近で 2 ~ 5Lu の値を示し、その下では 2Lu 以下の難透水性岩盤が連続する。北側の中央 1 断面では 10 ~ 20Lu の透水性がやや高い岩盤が、中央 2 断面では 20Lu 以上の透水性が高い岩盤が分布するが、いずれもその下には 2Lu 以下を示す難透水性の岩盤が確認されている。</p> <p><b>【東西断面】</b></p> <p>処分場の木ノ芽川断面、堰堤部断面では、中央部から東側にかけて 10Lu 以上を示す高透水性の岩盤が比較的深部まで分布するが、その下位および周辺には 2Lu 以下の難透水性岩盤が分布する。一方、中央部から西側にかけて、5 ~ 10Lu の透水性を示す岩盤が分布しているが、20Lu 以上の透水性を示す砂岩が局所的にみられる。ただし、これらの周りおよび下には 2Lu 以下の難透水性岩盤が確認されている。</p> <p>処分場の中央断面では、中央部に 10Lu 以上の透水性を示す箇所が岩盤上面付近に分布する。ただし、このやや透水性の高い箇所は、東側および西側への連続性は認められず、その下位には透水性が低い 2 ~ 5Lu の岩盤、さらには 2Lu 以下の難透水性岩盤が分布する。</p> <p>処分場の南側断面、山側断面では、土砂分布域の最深部から西側にかけては、2Lu 以下ないしは 2 ~ 5Lu を示す透水性の低い岩盤が分布する。一方、東側にかけては、10Lu 以上の透水性を示すが地表付近から深度 40 ~ 60m まで分布する。ただし、この透水性の高い岩盤の下位には、2Lu 以下の難透水性岩盤が確認されている。</p> <p>上記のように、処分場およびその付近では、河床部や処分場南東部付近の一部で透水性の高い岩盤が分布するものの、その下および周囲には難透水性岩盤が連続して確認されている。</p>	<p>図-2.5.1 処分場付近のルジオンマップ (南北 - 西側・中央 1・2)</p> <p>図-2.5.2 処分場付近のルジオンマップ (南北 - 東側, 東西 - 木ノ芽川沿い・堰堤部)</p> <p>図-2.5.3 処分場付近のルジオンマップ (東西 - 中央・処分場南側・山側)</p>



処分場付近の地質平面図  
【断面作成位置図】



凡例

	$20 < Lu$
	$10 < Lu \leq 20$
	$5 < Lu \leq 10$
	$2 < Lu \leq 5$
	$Lu \leq 2$

図-2.5.1 処分場付近のルジオンマップ（南北-西側・中央1・2）